



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
平成29年度学校だより
第4号
平成29年7月3日発行



可能性を拓く

校庭の紫陽花が見頃を迎えています。子どもたちは、朝から水やりや農園の草引き、水泳学習と長い日中をめいっぱい元気に過ごしています。1年生の朝顔が咲き始め、2年生のミニトマトも色づき始めました。また、通学路のコスモスの「芽が出たよ。」の嬉しい報告は、今年も1年生からありました。早いもので、もう1学期のまとめの月を迎えました。入学当初不安げだった1年生も、今では大声で「おはようございます!」と挨拶をしてくれる姿が頼もしく、思わず笑顔になります。

藤井四段の快進撃や陸上競技や卓球などにおける十代の選手の活躍は、日本中に元気を与えてくれています。藤井四段は人工知能を相手に研究をし、抜群の集中力と闘争心、そして勝っておごらずという謙虚な姿勢がさわやかです。その師匠によれば、「勝負時にはどんな相手もたたきつづす闘争心で挑むが、終われば客観的、冷静に自分を見るので謙虚な言葉になる。さらに上を目指しているから控えめな姿勢が出ている。」とのこと。幼少期から好きなことに打ち込んできた持ち前の集中力は、小学生では司馬遼太郎の「竜馬がゆく」などの書物を読みあさったそうです。一方で周りの大人が彼らの才能をはぐくむ姿にも学ぶところが大きいです。本校でも6月17日に開催された舞鶴市小学生陸上競技大会で、5・6年生が日頃の練習の成果を発揮しました。今後も子どもたちを温かく見守り、個々の可能性を拓いていきたいと思ひます。

さて、6月は、「いじめ対策強化月間」として、本校では児童のアンケートや面談、友情に関わる道徳学習などを行いました。(いじめアンケートの詳しい結果、並びに取組内容は、1学期末の学校だよりでお知らせします。)人間関係を良好に保つのは大人でも難しいですが、子どもたちは、日々の活動を通して友人関係を築いていきます。子どもたちの表情や声なき声にも注意しながら、今後も人間関係を見ていきます。ご家庭で困りごとを相談された場合は、いじめの未然防止や早期解決のため、学校にもお伝えいただきますようご協力をお願いいたします。6月3日の土曜活用事業には、そんな心の教育の授業参観、PTA救命救急法講習会、原子力災害時の引き取り訓練を実施しましたところ、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。児童の引き取りは、豪雨の際にも行います。保護者の皆様の協力による迅速な対応が、自らの命と他者の命を守ることに繋がります。本日配布の「志楽小の三つのポイント」(保存版)をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。また、この日は、子どもたちが志楽川沿いにコスモスの種をペア学年で協力し合って蒔きました。恒例の行事となり、この活動に先駆けて、企業の皆様にボランティアで草刈りをしていただきました。学校や子どもたちを思っていたく皆様のお気持ちが嬉しいです。感謝申し上げます。コスモスロードを走る日が楽しみです。

1学期も残すところ3週間。学習のまとめや夏休みに向けての準備など一日一日が貴重です。地域懇談会でお聞きした危険箇所や自転車の乗り方など、児童への指導を再度徹底し、夏休みへの事前の安全指導に努めます。引き続き、地域・保護者の皆様にはお世話になりますが、よろしく願いいたします。

校長 村川 広美
教職員 一同



毎年、ありがとうございます。 通学路にコスモスを植えるようになって今年で5年目になります。ダイヤモンド協議会様のお声かけで、今年も企業の皆様に志楽川フェンス沿いの草刈りをお世話になりました。児童の作業がしやすくなり、大変助かりました。

ご協力いただいた皆様(会社名)

新和建設(株)・大進工業(株)・ツバサ工業(株)・鶴美建設(株)・
(株)東舞重機工業・(株)丸富建設・(株)ホクタン建設工業 様

日々新たに・・・

☆ 人の話が聴ける子、自分の考えが言える子、人との対話・コミュニケーションを楽しめる子に
小学校では、平成三十二年度から新しい学習指導要領による教育課程を実施します。これは、急速に変化する予測不可能な未来社会を担う子どもたちに必要な力、特に学習の基盤となる資質・能力や豊かな人生の実現や災害等乗り越えて時代の社会を形成することにに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を目指しています。

研修で京都大学の教授からお話をうかがいました。仕事に就く人材を輩出するため、大事にされていることは、様々な課題に対して、様々な人との対話の中でクリエイティブに解決策を導き出す力の育成だそうです。そのためには、小さな時から、しっかりと話が聴けること、自分の考えが言えること、そしてコミュニケーションが良好であることが大切だということをお話をされました。人とのコミュニケーションでは、「話がしやすくなるようにお互いに気を配ること」が大切で、具体的には「①お互いの顔・目を見る②スマイル③適度にうなづく」が基本のことです。

志楽小学校でも、日々のスピーチ活動をはじめ、授業や様々な教育活動で、まず、話を聴くことを大切にしています。耳だけでなく、目と心をうんと使って考えながら聴く力を育てるには、私たち大人が傾聴する姿勢を示していくことも大切だと考えています。子どもは大人がしたように育つので・・・

☆ 努力と可能性

市の陸上大会で、八百m競技一位になった波尻君。スタートから終始自分のペースでレースを引っ張り、一発決勝で歴代大会記録に迫る姿に感動しました。後日、お尋ねしてみると「毎朝走っている」とのこと。毎日続けることを実行している子がここにいました。八十mハドル一位の北風さんも大会記録に迫る記録を出し、皆、それぞれによさを伸ばしました。

